

環 流



第192号 令和7年3月14日

<目 次>

児童の活動：奥沢小学校……………P1
巻頭言：堀 智行 校長……………P1
研究指定校・団体の研究会等……………P2
第13次研究 公開検証授業……………P3
教育研究所情報：
令和6年度教育研究所の歩み……P4



【地域との連携—図書ボランティア】
図書ボランティアの皆さんが、定期的に読み聞かせや学校図書館の整備を行っています。



【地域との連携—まち探検】
2年生の生活科では、地域の店や施設を訪問し、インタビュー活動等を行っています。

「共創」する学校づくりを目指して



小樽市立奥沢小学校 校長 堀 智 行

本校は、明治32年に開校し、今年で126年目を迎える歴史と伝統を紡ぎ地域とともに歩んできた学校です。また、平成30年には、天神小学校と入船小学校の一部と統合し、新生奥沢小学校として再スタートしました。令和9年には統合10周年を迎え、記念式典を行う予定になっています。

統合に伴って校区も広がったことから、地域の教育資源や人材の見直しを図り、学校運営協議会の協力のもと、教育資源や学校支援ボランティアの活用について再構築し教育活動を推進してきました。

保護者、地域の方々は、協力的に校区探検や社会科見学を受け入れていただいたり、図書ボランティアや学習支援ボランティアに積極的に参加していただいたりしています。また、今年は4年生が総合的な学習の時間の中で、かつて天神地区に選鉱場や事務所等があった松倉鉱山（重晶石）についての探究活動を行うなど、新たな地域の教育資源の発掘・活用にも力を入れています。

今後も、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、ふるさと教育やキャリア教育との関連を図りながら、「子どもは地域の宝」を合言葉に、地域と手を携え「共創」する学校づくりを目指していきたいと考えています。

令和6年度 「調査研究活動事業研究指定校・団体の公開研究会等」

各校・団体の今年度の公開研究会について、まとめました。

学校・団体名	指定	研究会等の内容
稲穂小学校	推進校	○公開研究会：11月22日（公開授業）1年生国語「たぬきの糸車」
花園小学校	推進校	○公開研究会：9月27日（公開授業）5年生算数「円と球」
山の手小学校	推進校	○指導力向上特別研修講座Ⅰ：11月29日（公開授業）1年生国語「じどう車くらべ」、5年生国語「大造じいさんとガン」
潮見台小学校	推進校	○公開研究会：11月1日（公開授業）4年生算数「変わり方」
桜小学校	推進校	○指導力向上特別研修講座Ⅳ：11月20日（公開授業）5年生外国語「You can do it!2」
望洋台小学校	推進校	○実践発表会：11月18日（公開授業）6年生算数「拡大図と縮図」
桂岡小学校	推進校	○指導力向上特別研修講座Ⅴ（体育）：9月27日（公開授業）4年生体育「ポートバスケットボール」
銭函小学校	推進校	○公開研究会：11月15日（公開授業）6年生音楽「思いをこめた表現」
高島小学校	交流校	○公開研究会：11月14日（公開授業）1年生算数「ひきざん」
奥沢小学校	交流校	○公開研究会：11月21日（公開授業）6年生算数「比」
西陵中学校	推進校	○公開研究会：10月29日（公開授業）2年生理科「気象の観測」
菁園中学校	推進校	○公開研究会：10月28日（公開授業）1年生道徳「橋の上のおおかみ」 1年生技術・家庭「丈夫な作品製作」
北陵中学校	交流校	○公開研究会：10月16日（公開授業）1年生社会「ヨーロッパ州」
望洋台中学校	交流校	○公開研究会：11月27日（公開授業）1年生理科「力の世界」
朝里中学校	交流校	○公開校内研修会：12月5日（公開授業）1，2，3年生全学級公開
小樽市算数 数学教育会	推進団体	○授業実践公開：11月21日（公開授業）小学6年生「比」
小樽市社会科 教育研究会	交流団体	○公開授業研究会：11月20日（公開授業）中学3年生「税金を納めること」
小樽市複式 教育研究会	交流団体	○公開研究会：塩谷小11月7日（公開授業）6年生国語「やまなし」 張碓小11月15日（公開授業）6年生算数「拡大図と縮図」 忍路中央小11月22日（公開授業）3，4年生算数「分数」「面積」
後志道徳教育 研究会小樽支部	交流団体	○実践発表会：2月3日（公開授業）小学6年生「お客様」
小樽市学校 体育研究会	交流団体	○研究授業：11月11日（公開授業）中学3年生「文化としてのスポーツ」
小樽英語 教育研究会	交流団体	○研究授業：2月21日（公開授業）中学2年生「Reading③」

第13次研究「公開検証授業」を実施しました

今年度、奥沢小学校で行われた、教育研究所の研究主題解明に向けた公開検証授業について紹介させていただきます。

なお、本授業の指導案等の詳細は研究紀要第50号に掲載されておりますので、ぜひご高覧ください。

【佐藤充研究員の検証授業について（奥沢小学校5年生：算数）】

日 時 令和6年12月11日（水）

単元名 「四角形や三角形の面積」 11／17時間目

（授業について）

- ・本単元「四角形や三角形の面積」の学習では、単元の見通しを持ち、前時までの既習を使って解決の見通しを持ちながら学習展開している。
- ・本時は、台形の面積の求め方を既習の形をもとに考え、説明する場面であった。
- ・子どもたちは指導者の指示により、解決の方法を自分で選択して学習していた。
- ・子どもたちは、台形の面積を求めるために、変形したり分けたりして考えていたが、習った形にすると求められるということに気づいていた。
- ・子どもたちは端末を自由に操り学習していた。ICTに慣れ親しんでいる様子がわかった。

（授業者から）

- ・学力差があり、ICTを活用した学習に関しても、技術に差がある。
- ・本単元は16時間扱いであるが、オリエンテーションを1時間入れて17時間扱いとした。
- ・自分の学びがわかる「面積の公式マップ」を作って学習を進めている。
- ・「オリエンテーション」で学習の見通しが持て、「面積の公式マップ」によって子どもたちは意欲的に学習している。
- ・日常的に自由に交流しているが、本時は緊張していたためなのか、自由な交流が少なかった。
- ・本時は多くの考えが出たので、全員で他者参照をさせる時間を設けた。

（協議内容1）個別最適な学びの工夫

- ・「面積の公式マップ」が大変有効となっていた。
- ・学び方を選択できるのがよかった。
- ・端末を使いこなしている。ICTの積み重ねが感じられた。
- ・子どもたちは見通しをもって学びに向かっていた。
- ・自力解決の時間の使い方は、実態や単元の中身に応じて指導することが大切である。
- ・学級の雰囲気が大変良く、子どもたちは安心して学びに向かっている。この学級だからこそ、単元計画を工夫し、もっと子どもに委ねる時間を作ってもよいと思う。

（協議内容2）協働的な学びの工夫

- ・たくさんの考え方を知るのが、公式につながる求め方に近づけるのかをはっきりさせて交流するとよかった。
- ・全体交流は、もっと子どもたちに委ねてもよいのではないかな。
- ・全体交流で「切り分けた」「つけたした」など、方法ごとに交流しても面白いのではないかな。

（助言者から）

- ・学びのゴールが見えることが大切である。この学習を通して、「どんな力が身につくのか」「何ができるようになるのか」を子どもがわかっていることが大切である。
- ・他者参照する場合、0参照もOKである。子どもが課題に対して手つかずの状態でも友達のことを参考にするとところから学習を始めてもよい。
- ・子どもに委ねることが個別最適な学びのように考えられるが、自由進度学習ばかりを進めればよいのではない。単元や内容によって考えて進めなければならない。

教育研究所情報

令和6年度教育研究所の主な活動の歩み

教職員研修の充実にかかわる内容

- 1 研究員による教育研究の推進
 - 研究員会議を中心とした研究活動
(令和6年6月～令和7年1月, 9回の開催)
 - 検証授業の実施
(3回～小学校算数2回・小学校国語1回)
 - 研究紀要第50号の発行 (3月90部発行)
- 2 調査研究活動事業の推進
 - 研究推進校・推進団体 (10校・1団体)
 - 研究交流校・交流団体 (5校・5団体)
 - 公開研究会・公開授業の実施
(15校・6団体)
 - 教育講演会・講習会などの開催
(7校・4団体)
 - 市外公開研究会・実践発表会等への参加
(2校3団体, 参加8名)
 - 研修発表会の開催 (1月22日)
 - 研究集録の発行 (3月60部発行)
- 3 研修講座の開催
 - 環境教育研修講座『『新版小学校理科教材おたるの自然(デジタル版)』を通して』(R6.7.31)
(参加32名)
 - 公開検証授業(R6.12.11)(参加21名)
 - ふるさと教育研修講座(R7.2.27～3.28)
オンデマンドによる研修
- 4 所報「環流」の発行(6, 9, 12, 3月)各号
90部程度作成(教職員へはデータ送信)
 - 第189号「教育研究所の活動について」他
 - 第190号「環境教育研修講座」他
 - 第191号「研究推進校の実践紹介」「所内検証授業」他
 - 第192号「調査研究活動事業研究指定校・団体の研究会等」「公開検証授業」他
- 5 研究図書及び資料の収集と整備, 活用促進
 - 教育研究資料目録 第13集の発行(4月)
 - 研究図書の購入 71冊
 - 研究図書の貸出 139冊
 - 指導案データの作成, 発行(4月)

教育活動の充実にかかわる内容

- 1 学力検査の奨励
 - 標準学力調査
小学校3・5学年2教科 1,144名
中学校2学年3教科 613名
- 2 社会科副読本の活用の促進
 - 小学校社会副読本「わたしたちの小樽」
・令和6・7年度版を小学3年生に配布
・活用の手引きを各小学校に配布
- 3 理科教材の活用の促進
 - 新版小学校理科教材「おたるの自然」
・デジタル版の配信
・活用状況調査の実施
- 4 ふるさと学習の促進
 - 「教材『小樽の歴史』」
・小学5年生児童全員及び中学校に3冊配布
・活用状況調査の実施
・改訂版の作成(R7～R11分)

教育相談の充実にかかわる内容

- 1 相談活動の実施
 - 相談件数 17件17回
(電話15件15回, メール2件2回)
- 2 スクールソーシャルワーカー(SSW)の支援
 - 対応した学校 小学校9校, 中学校9校
 - 支援の対象となった児童生徒 57名
 - 学校への訪問
要請訪問 5回
定期学校訪問 前期29校 後期29校
 - 家庭への訪問回数 4回
 - ケース会議の回数 9回 6件
 - 研修会, 会議等の参加
・SSW連絡協議会・SSW地域別研修会
・要保護児童対策地域協議会
・いじめ問題対策連絡協議会
・不登校対策連絡協議会 等

※上記の数値は令和7年2月末日現在

編集後記

上記のように研究所では、「教職員研修の充実」「教育活動の充実」「教育相談の充実」を柱に活動しています。所報「環流」では、今年度も研究所の活動や各学校・団体の取組について紹介してきました。今後も情報提供に努めてまいります。